

公開講座

集中豪雨

知る 診る 備える

記録的大雨をもたらす線状降水帯、局地的な豪雨
その発生メカニズム、最新の予測技術と観測体制の強化
減災のための防災気象情報伝達の実践について解説します

8.24 金 13:00 ▶▶ 16:30 (12:30 開場)

名古屋市科学館 サイエンスホール

集中豪雨と線状降水帯

加藤 輝之 (気象庁 観測部観測システム運用室 室長)

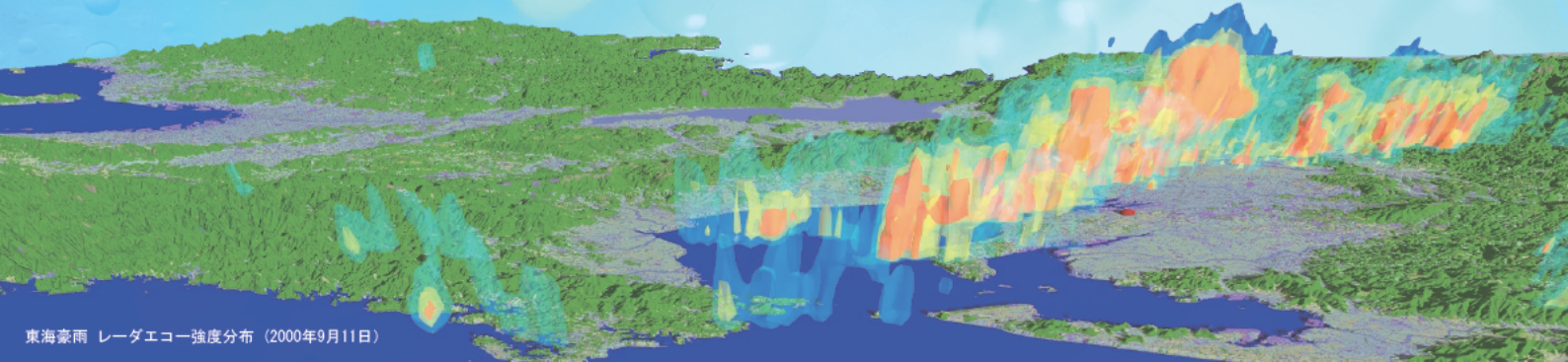
最新の気象レーダーで診る豪雨

高橋 暢宏 (名古屋大学 宇宙地球環境研究所 教授)

近年の豪雨災害と災害情報

牛山 素行 (静岡大学 防災総合センター 教授)

司会 水嶋 千詠 (気象予報士)



受講無料
定員 300 名

科学館観覧料 大人 400 円 / 学生 200 円 (要学生証) が必要です

高校生以上。先着順。事前申し込みできます。詳細はコチラ 

ネットで検索！

気象学会中部支部 



<http://www.metsoc.jp/chubu/>

☎(052)-751-5124

主催：日本気象学会中部支部

後援：名古屋大学宇宙地球環境研究所

共催：名古屋地方気象台

日本気象協会中部支社

名古屋市科学館

日本気象予報士会東海支部